

「ひと」・「仕事」・「組織」の一体改革（愛媛県松山市）

取組概要

限られた経営資源(ヒト・カネ・モノ・ジカン)のなか、『ひと』『仕事』『組織』の一体改革を効率的かつ効果的に推進するため、内部管理部門(行政改革推進課と人事課)の統合による一体化及び方針等(松山市人材育成基本方針と松山市行政改革プラン2012)の見直しによる一本化を実現するとともに、内部管理部門3課(人事課・財政課・企画戦略課)の連携強化によって、「事務事業」を中心とした新たな仕組みを構築した。

人口 515,183人
(平成28年7月1日現在)
担当 総務部 人事課

取組の効果

- 1. 行政改革推進課と人事課の統合**
→組織改正と人事異動作業の効率化、時間短縮、時間外手当の縮減
- 2. 「人材育成・行政経営改革方針」の策定**
→1部署、1方針による進行管理体制、重複項目の整理
- 3. 事務事業の見直し**
→内部管理部門の連携による作業の共同化、各課作業や検討の効率化
→廃止縮小等の検討のみならず、引継ぎ、職員面談、人事評価等へ活用機会を拡大
→自発的な業務改善による財源捻出:1.3億円(H28一般財源 1,130億円)

創意・工夫した点

- ・一体改革を推進する中心的手法に「事務事業シート」の有効活用にポイントを置いた。
- ・「事務事業シート」作成時期を「年度またぎ」とすることで、人事異動による事務の停滞を解消。
- ・「事務事業シート」を、職員一人ひとりの仕事ぶりを反映するものとして捉え直すことで、業務改善に対するインセンティブ、モチベーションの維持に貢献。

他団体へのアドバイス

- ・まずは、内部管理部門での業務改善を始め、姿勢(意気込み・本気度)を見せることが有効。
- ・行政改革等の流れを持続させるためには、職員を中心に自発的に回り続ける、肝を掴んだ仕組みとして練り上げることが重要。

